

古澤 巖 × 山本耕史 コンサートツアー

塩谷 哲 (音楽監督・ピアノ) / 小沼ようすけ (ギター)、大儀見 元 (パーカッション)、井上陽介 (ベース)

DANDYISM BANQUET II

ダンディズムバンケット2

Dandyism Banquetとは、音楽とは、いったい何なのか。

「赤と黒」「空と大地」「男と女」「生と死」「涙と笑顔」「正義と悪」…

対極の中で生まれる音楽。音楽の対極にあるものは…。

感じあい、理解しあい、思いを共有する。究極の愛がそこにある。

《特別協賛》 株式会社アルソア慧央グループ

《後援》 ハッツアンリミテッド

《企画制作》 NHKエンタープライズ



公益財団法人 大泉町スポーツ文化振興事業団 設立40周年記念事業

2024/2/10 Sat. 17:00 開演 (16:00 開場)

洋泉興業大泉町文化むら・大ホール

全席指定 プラチナ席 8,000円 / スタンダード席 7,000円 (税込 / 未就学児入場不可)

主 催 (公財) 大泉町スポーツ文化振興事業団 後 援 大泉町 / 大泉町教育委員会

協 力 足利 IFF / (有) 足利ココ・ファーム・ワイナリー / ガトーフェスタ ハラダ

問合せ 洋泉興業大泉町文化むら (月曜・年末年始休館) TEL.0276-63-7733

〒370-0514 群馬県邑楽郡大泉町朝日 5-24-1 URL www.bunkamura.or.jp/

チケット発売 10月28日(土)

●文化むら(窓口)8:30~ (電話)10:00~

文化むら TEL.0276-63-7733

●ローソンチケット 10:00~ (Lコード32138)

◆[専用座席表\(こちらから\)](#)

◆[ツアーホームページ\(外部リンク\)](#)

新たな「ダンディズム・バンケット」によせて



既存の枠組みにとらわれない、全く新しい形のコンサートが今ほど必要とされている時代はない。「ダンディズム・バンケット」は、その最高の成功例の一つである。

昨年の公演は今も鮮烈に記憶に残っている。常に挑戦を続けてきた二人のパフォーマー、ヴァイオリニスト・古澤巖と俳優・山本耕史、そして音楽監督である、ピアニスト塩谷哲をはじめとしたスーパーミュージシャンが、美しく緊密に構成された舞台の上で、何と洗練された熱いコラボレーションを展開していたことだろう。シェイクスピアや近松ら古典文学の「言葉」から始まって、都会的な

「音楽」へとつながっていく流れが見事だった。それは、演劇にも音楽にもなりうるような新しい何かだった。ダンディズムとは何か、年を重ねた男がどう生きていくべきか、そんな美意識について改めて考えさせてくれるステージでもあった。

今回の新しい「ダンディズム・バンケット」は、音楽の対極にある反対物とは何かを考え、問題提起していくメッセージ性の強いものになるという。あらゆる音楽ファン、演劇ファンにとって、さらに進化した刺激的なステージが展開されるに違いない。

林田直樹（音楽ジャーナリスト・評論家）

※掲載写真は昨年のステージより



Artist

古澤 巖 (ヴァイオリン)

Iwao Furusawa



毎年12月にベルリンフィルとのツアー「愛のクリスマス」(宗次コレクションのストラディヴァリウス使用)、3月フランスから「コルシカ音楽祭」、6月からはTSUKEMENのTAIRIKプロデュース「品川カルテット」など年間150公演を行う。足立学園音楽大学客員教授、COCO FARM WINERY

取締役、テラモレーシングチームでマツダロードスター・パーティーレース及び耐久レースに毎年参戦、日向では毎夏音楽&サーフキャンプ開催も行っている。未だかつて無い山本耕史との新たなステージに強烈な刺激を受け2年目を迎える。バンドでのステージは本公演のみ。
<https://www.iwaofurusawa.com/>



山本耕史 (語り・歌)

Koji Yamamoto



1987年日本初演「レ・ミゼラブル」で舞台デビュー、1993年「ひとつ屋根の下」で注目を集める。映画「きのう何食べた」「シン・ウルトラマン」、舞台「RENT」「嵐が丘」を始め多くの作品に出演。ミュージカル「メンフィス」では読売演劇大賞 優秀男優賞を受賞。2004年大河ドラマ「新選組」土方

歳三役で人気を博し、2012年「平清盛」藤原頼長、2016年「真田丸」石田三成、2022年「鎌倉殿の13人」三浦義村役の庄巻の演技で高い評価を得た。2023年NHK「大奥」、TV朝日「ハヤブサ消防団」、舞台「浅草キッド」出演等その勢いが止まらない。
<https://magnum1031.com>



塩谷 哲 (音楽監督・ピアノ)

Satoru Shionoya



ピアニスト/作・編曲家/プロデューサーソノアーティストとして現在まで12枚のオリジナルアルバムを発表。小曽根真(p)との共演、佐藤竹善(vo)との「SALT & SUGAR」や上妻宏光(三味線)との「AGA-SHIO」の活動、リチャード・ストルツマン(cla)、ステイヴ・ガッド(dr)、ほか多数のコラボレート等、

活動のジャンル・形態は多岐に渡る。メディアでは、NHK Eテレ「趣味Do楽」塩谷哲のリズムでピアノ(2014年)、NHK Eテレ音楽/バットバラエティー番組「コレナンデ商会」(2016年~2022年3月)の音楽等を担当。現在、国立音楽大学ジャズ専修准教授。(敬称略)
<https://www.earthbeat-salt.com>



小沼ようすけ (ギター)

Yosuke Onuma

秋田県出身。1999年 ギブソンジャズギターコンテスト優勝。

2001年 SONY MUSICよりデビュー。

2016年 Flyway LABELを設立。

カリブ海グアドループ島のリズム「ヴォッカ」をフィーチャーした「Jam Ka Deux」をパリにて録音。様々な世界を音で繋ぐ創作活動を続けるギタリスト。

最新作は初のソロギター作品「Your Smile」。

<http://www.yosukeonuma.com/>



大儀見 元 (パーカッション)

Gen Ogimi

幼少期よりビートルズに心酔。80年代にオルケスタ・デ・ラ・ルス結成、N.Y.進出の後グラミー賞ノミネート。脱退後の'91年 Tito Nievesオーケストラにコンガ奏者として参加。'97年 SALSA SWINGOZA、2019年 swingoza+結成、日本のサルサシーンを牽引。世界中で体得したリズムのエッセンスが溢れ出すグルーヴは、Dreams Come True、矢沢永吉、菊地成孔、絢香、等のアーティストから厚い信頼を受けている。

<http://genogimi.com>



井上陽介 (ベース)

Yosuke Inoue

大阪音楽大学作曲科卒。91年よりニューヨークを拠点に活動。在米中、ハンク・ジョーンズなどの数々のグループでの国際的に活動。2004年には活動の拠点を日本に移す。2021年9月に武本和太(P)濱田吾吾(Ds)とレコーディングした10枚目のトリオ第二弾「Next Step」をリリース。現在、自己のグループ他、塩谷哲、大西順子、渡辺香津美、古澤巖&山本耕史 Dandyism Banquetのレギュラーメンバーとして活動の他、数々のセッションに積極的に活動。

<http://yosukeinouejazz.sakura.ne.jp>



ロビーにてワイン、オードブルの販売を予定しています。開演前や休憩時間のひとときに、どうぞご利用ください。



有料の託児サービスがございます。お子様お一人につき500円。

[詳しくはここをクリック](#)

※新型コロナウイルスなど感染症の状況により上記のサービスが中止となる場合があります。

今回、ミニコンサートはございません。

PÂTISSERIE CREATIONS
GATEAU FESTA HARADA

Hors d'oeuvre Rusk
GOUTER de ROI
Sommelier

オードブルラスク
「グーテ・デ・ロウ ソムリエ」

www.gateaufesta-harada.com

ワインに合うがコンセプト
贅を尽くした甘くないオードブルラスク

